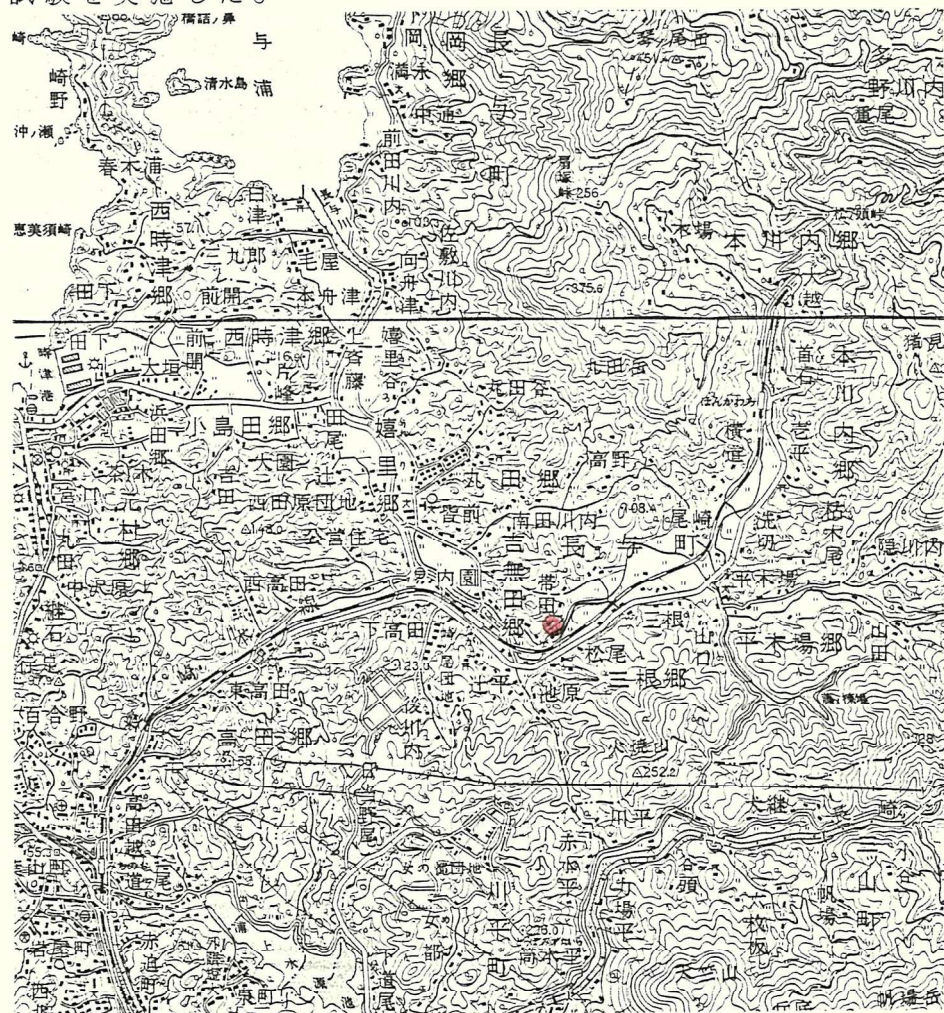


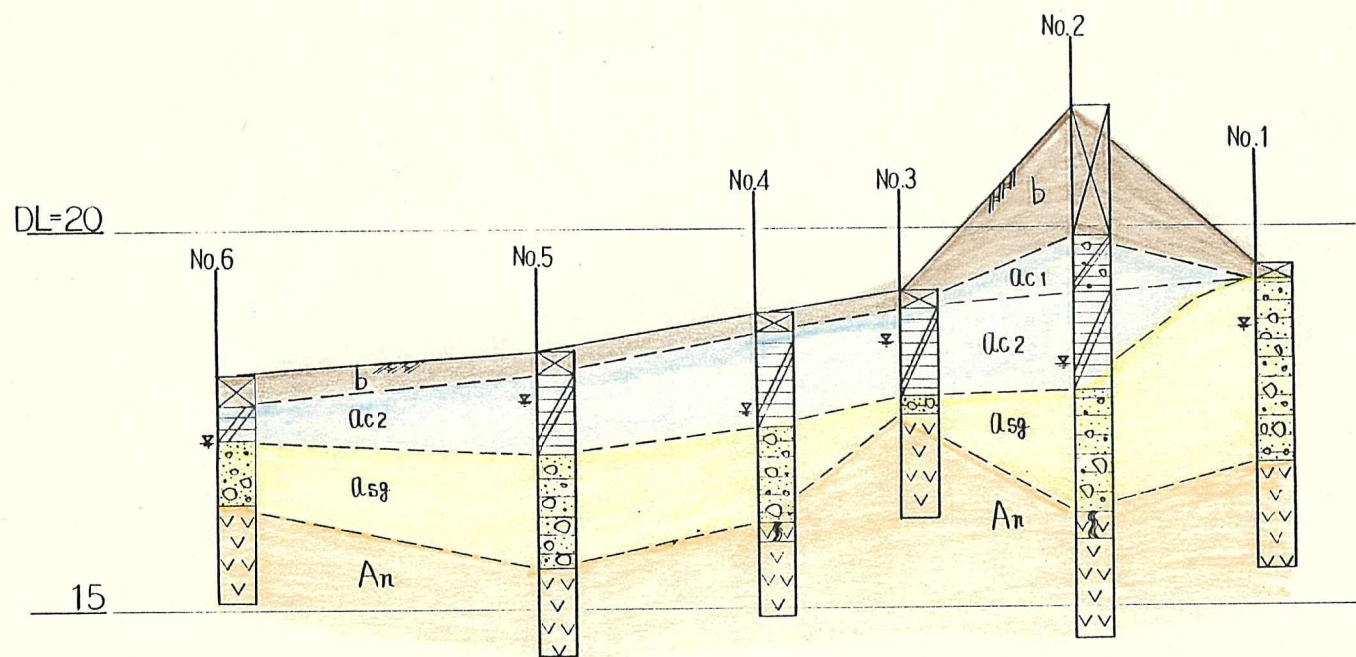
§ 1. ま え が き

本調査は長与町第二浄水場建設に先立ち基礎地盤を構成する地層の状況，土の硬軟および相対密度を把握し，基礎その他の設計施工に必要な基礎資料を得る目的の地質調査である。

指定の地点にボーリング孔を掘削して現位置試験の標準貫入試験を実施した。



案内図 S = 1 : 50,000 (● 調査地)



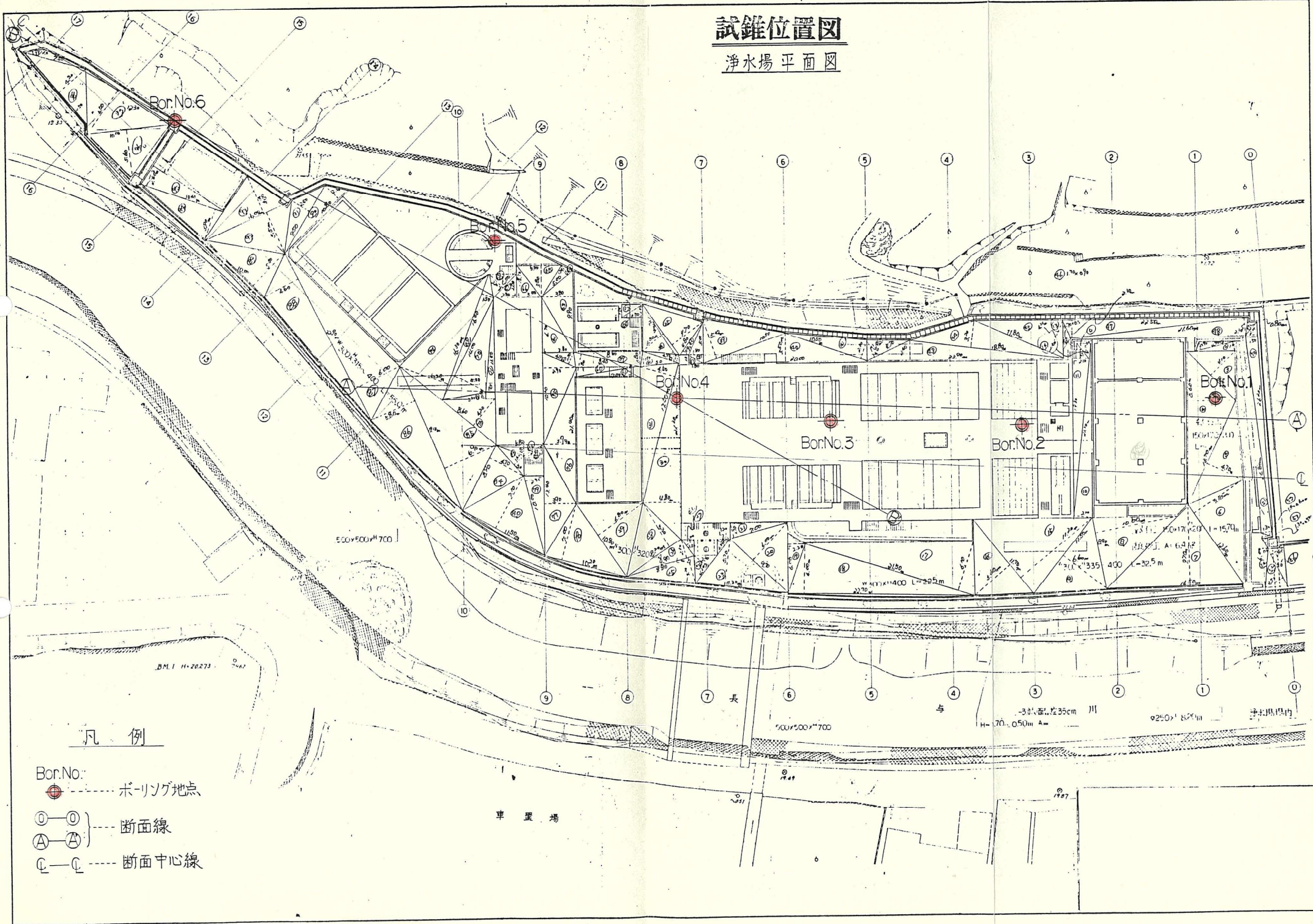
b: 盛土表土
 Qc2: 粘性土
 Qsg: 砂礫
 An: 安山岩

图 - 2 地質断面图

試錐位置図

試錐位置図

浄水場平面図



凡 例

- Bor.No. 〇----- ボーリング地点、
 〇—〇 } ----- 断面線
 (A)—(A) } ----- 断面中心線
 C—C ----- 断面中心線

車 置 場

土質柱状図

長与町第二浄水場敷地地質調査土質柱状図 (No. 1)

調査場所 西彼杵郡長与町

調査期日 自 10月23日 至 10月23日

孔口標高 $GH = 19.50$ (m)

孔内水位 $GL = 0.80$ (m)

孔 径 $\phi 6$ (m/m)

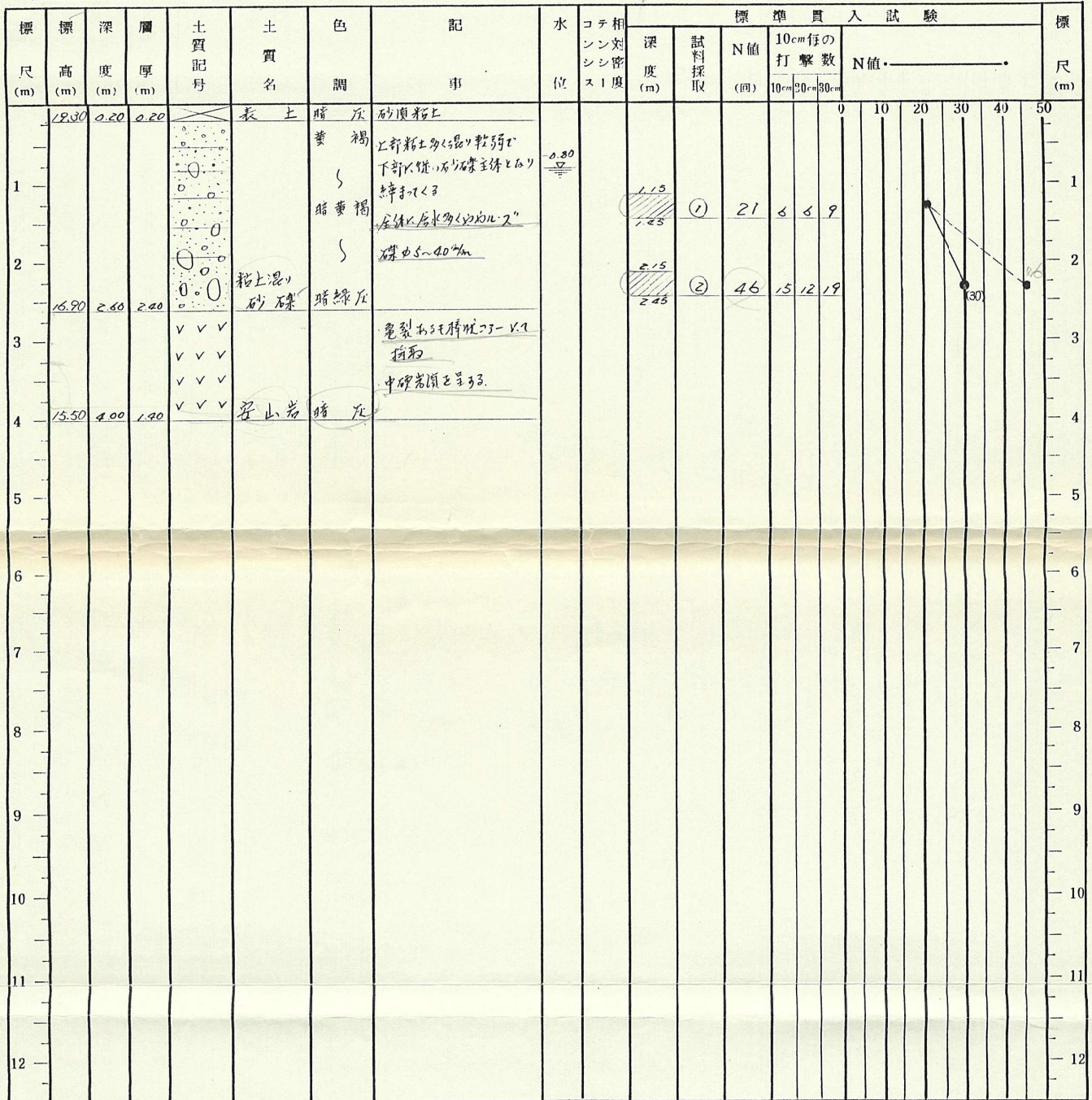
総掘進長 4.00 (m)

使用機械 東邦製 D.O.S 型

調査責任者 松原幸夫

作業担当者 岩永利男

縮尺 1/



備 考 1. 試料採取位置は、試料上端および下端の深度をもってあらわし土質試験試料には一連番号 (B-O-O) を付した。
2. 標準貫入試験において、打込みが規定の深さ30cmでない場合は、打込み回数を分子に、打込み深さを分母にとってあらわした。

3. N値が2のように分数表示の場合は、これを30cm貫入の場合に換算した値をプロットした。

No. 1

長与町第二浄水場敷地地質調査土質柱状図 (No. 2)

調査場所 和智村新長与町

調査期日 自 10月23日至 10月24日

孔口標高 $GH = 21.60$ (m)

孔内水位 $GL = 16.40$ (m)

孔 径 $\phi 6$ (m/m)

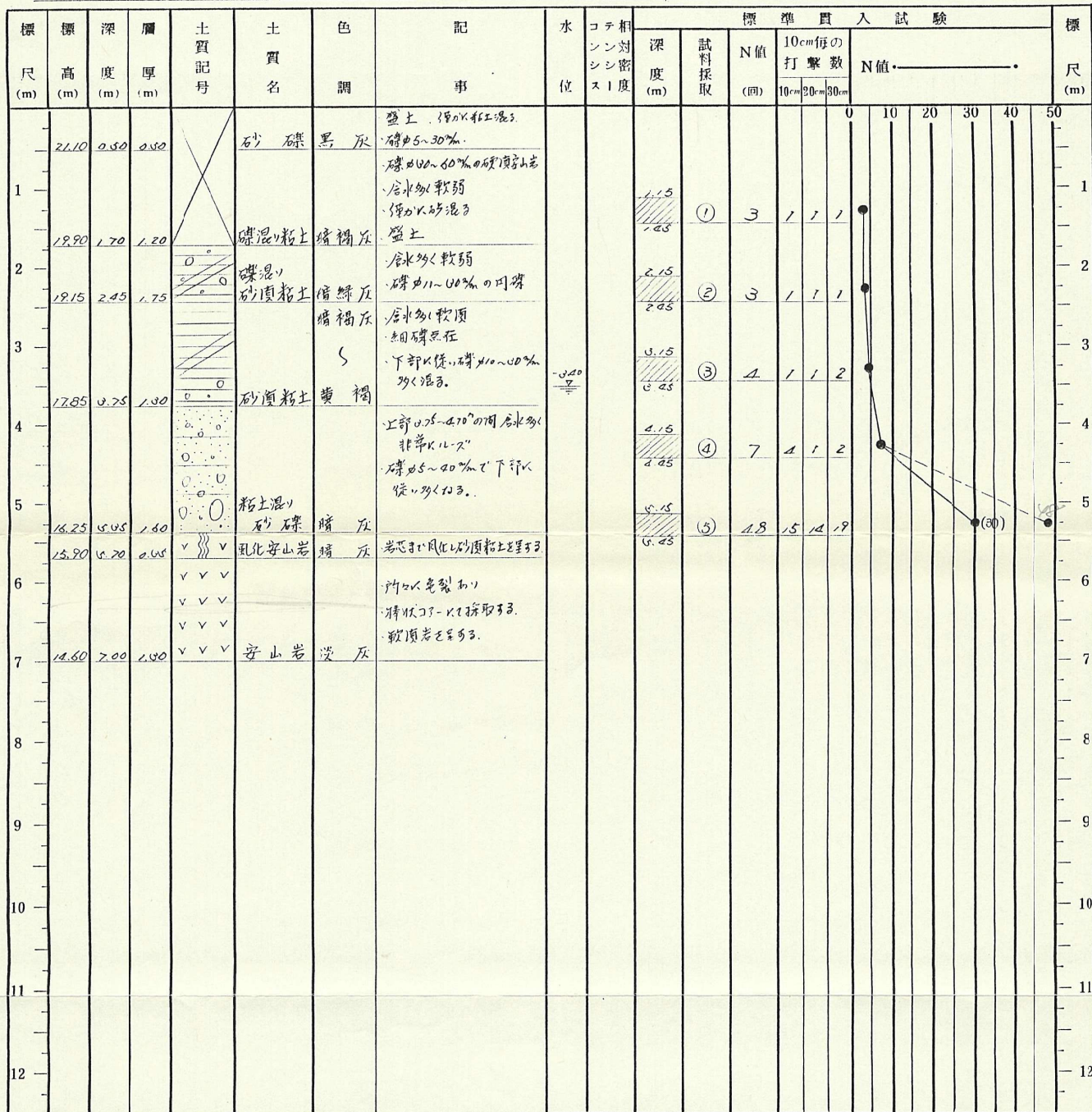
総掘進長 7.00 (m)

使用機械 東邦製 D.O.S型

調査責任者 松原幸夫

作業担当者 岩永利男

縮尺 1/



備 考 1. 試料採取位置は、試料上端および下端の深度をもってあらわし土質試験試料には一連番号 (B-O-O) を付した。
2. 標準貫入試験において、打込みが規定の深さ30cmでない場合は、打込み回数を分子に、打込み深さを分母にとってあらわした。

3. N値が2のように分数表示の場合は、これを30cm貫入の場合に換算した値をプロットした。

長与町第二浄水場敷地地質調査土質柱状図 (No. 3)

調査場所 血領村新長身町

調査期日 自 10月 22日 至 10月 22日

孔口標高 $GH = 19.20$ (m)

孔内水位 $GL = 0.70$ (m)

孔 径 $\phi 6$ (m/m)

総掘進長 3.00 (m)

使用機械 東洋製 D.O.S型

調査責任者 松原 孝夫

作業担当者 岩永利男

縮尺 1/

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質名	色調	記 事	水 位	コテ相 ン対 シシ ス1度	標準貫入試験										標尺 (m)		
										深度 (m)	試料採取	N値 (回)	10cm毎の 打撃数		N値	N値						
													10~20cm	20~30cm		0	10	20	30		40	50
1	18.95	0.25	0.25		表土	暗灰	砂混り粘土 砂含量多く粘着力少く 軟弱 一部砂多くなる	-0.70 ▽			①	6	2	1	3	●						
2	17.80	1.40	1.15		砂質粘土	暗灰褐	有粘質粘土															
	17.35	1.65	0.25		粘質砂礫	暗灰	礫20~40% 含砂粘土 亀裂が深様状75~100 非常に密な硬質岩。															
3	16.20	3.00	1.35		砂山岩	暗灰																
4																						
5																						
6																						
7																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						

備 考 1. 試料採取位置は、試料上端および下端の深度をもってあらわし土質試験試料には一連番号 (B-○-○) を付した。
2. 標準貫入試験において、打込みが規定の深さ30cmでない場合は、打込み回数を分子に、打込み深さを分母にとってあらわした。

3. N値が2のように分数表示の場合は、これを30cm貫入の場合に換算した値をプロットした。

長与町第二浄水場敷地地質調査土質柱状図 (No. 4)

調査場所 西彼杵郡長与町

調査期日 自 10 月 21 日 至 10 月 22 日

孔口標高 $GH = 18.90$ (m)

孔内水位 $GL = 1.30$ (m)

孔 径 66 (mm)

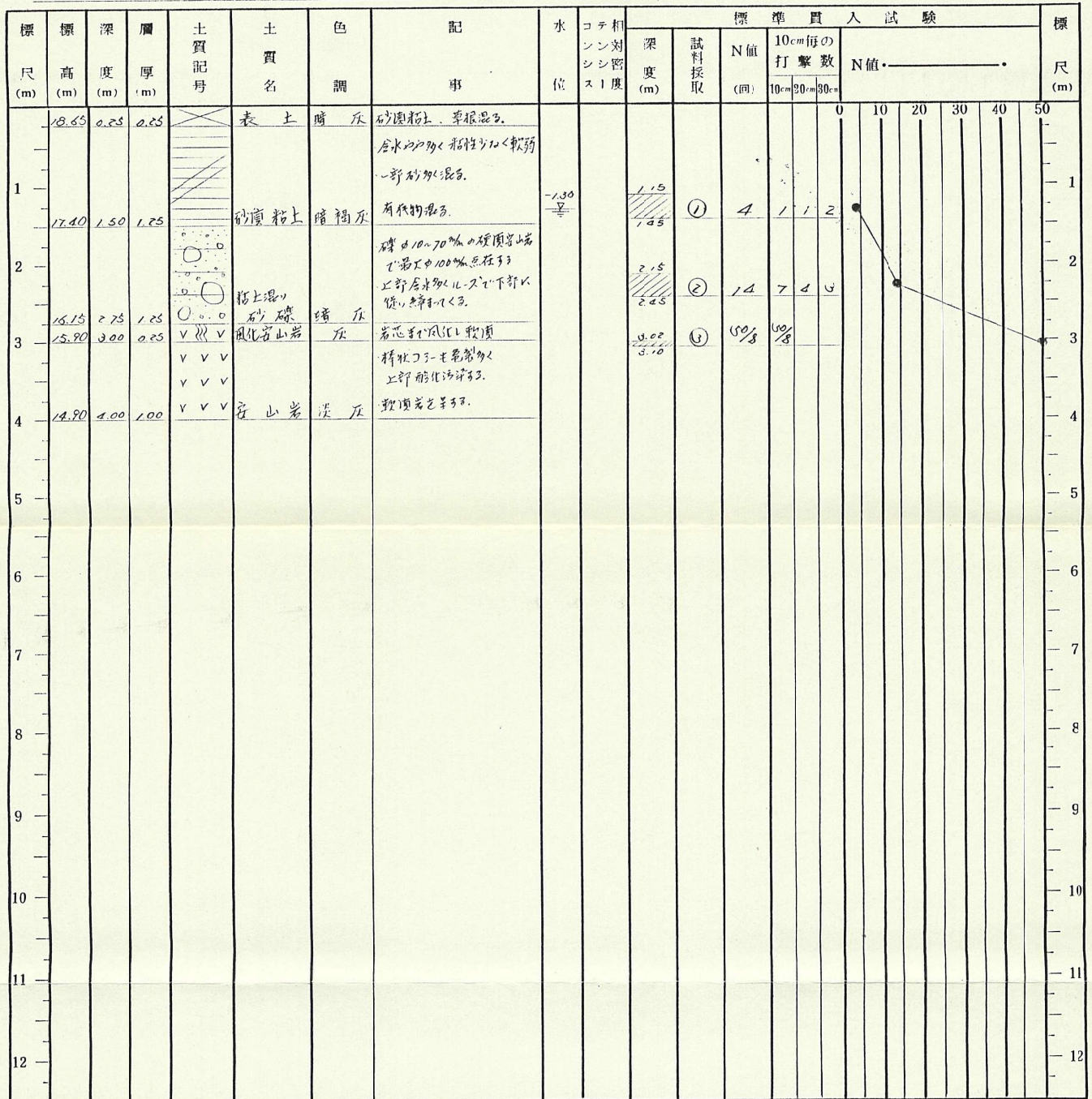
総掘進長 4.00 (m)

使用機械 東洋製 D.O.S 型

調査責任者 松原 孝夫

作業担当者 岩永利男

縮尺 1/



- 備考
- 試料採取位置は、試料上端および下端の深度をもってあらわし土質試験試料には一連番号 (B-O-O) を付した。
 - 標準貫入試験において、打込みが規定の深さ 30cm でない場合は、打込み回数を分子に、打込み深さを分母にとってあらわした。
 - N 値が 2 のように分数表示の場合は、これを 30cm 貫入の場合に換算した値をプロットした。

長与町第二浄水場敷地地質調査 土質柱状図 (No. 5)

調査場所 西彼野郡長与町

調査期日 自 10月19日 至 10月21日

孔口標高 $GH = 18.40$ (m)

孔内水位 $GL = 0.65$ (m)

孔 径 $\phi 6$ (m/m)

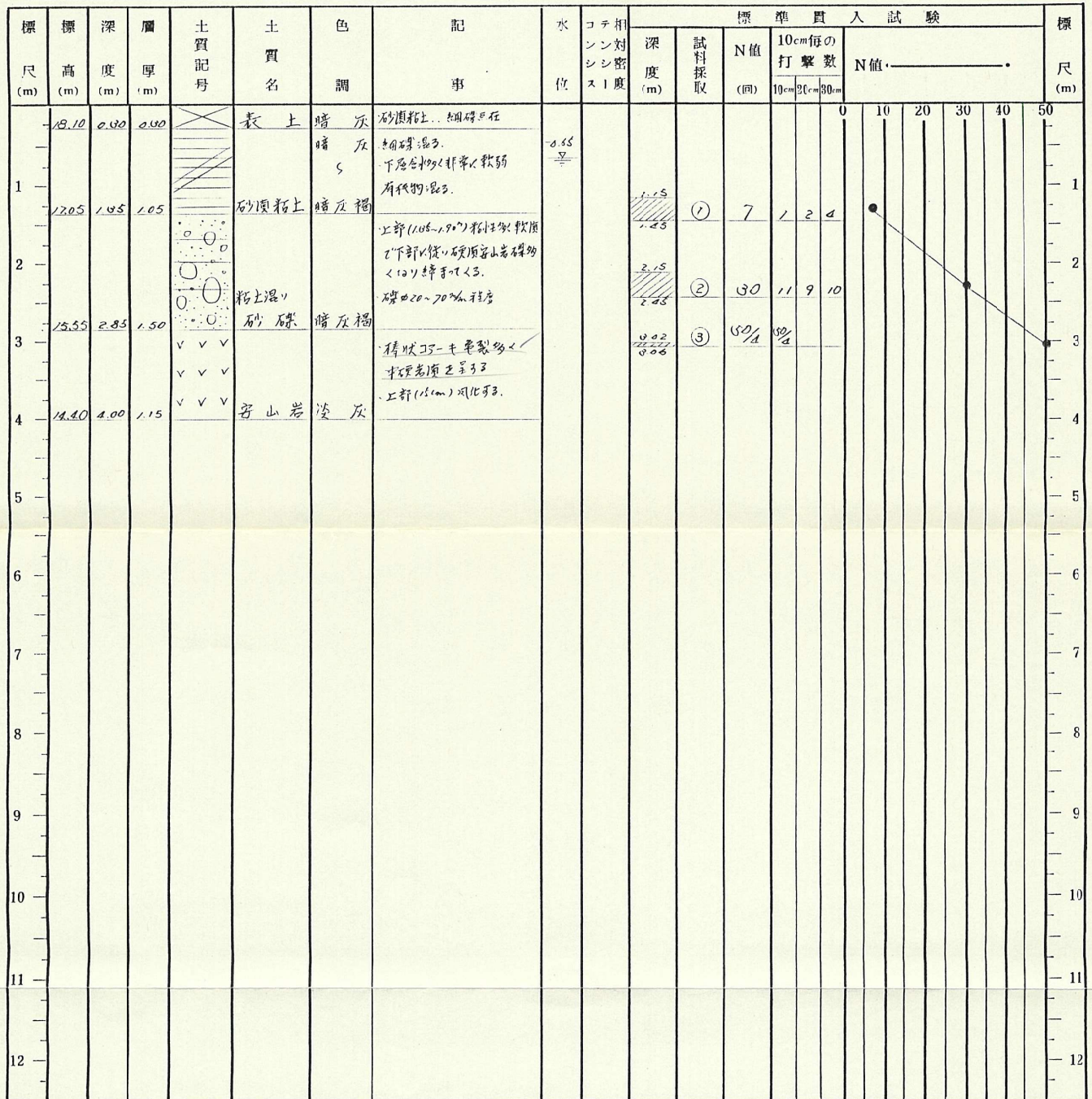
総掘進長 4.00 (m)

使用機械 東邦製 D.O.S型

調査責任者 松原 幸夫

作業担当者 岩永利男

縮尺 1/



- 備考
- 試料採取位置は、試料上端および下端の深度をもってあらわし土質試験試料には一連番号 (B-O-O) を付した。
 - 標準貫入試験において、打込みが規定の深さ30cmでない場合は、打込み回数を分子に、打込み深さを分母にとってあらわした。
 - N値が2のように分数表示の場合は、これを30cm貫入の場合に換算した値をプロットした。

長与町第二浄水場敷地地質調査土質柱状図 (No. 6)

調査場所 面鏡村郡長与町

調査期日 自 10月19日 至 10月19日

孔口標高 $GH = 18.10$ (m)

孔内水位 $GL = 0.90$ (m)

孔 径 66 (mm)

総掘進長 3.00 (m)

使用機械 東洋製 D.O.S型

調査責任者 松原 幸夫

作業担当者 岩永利男

縮尺 1/

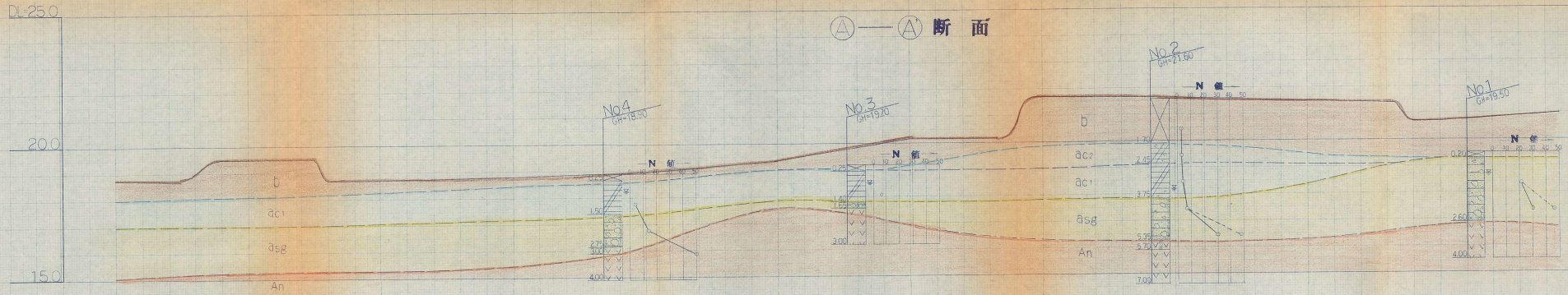
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質名	色調	記事	水位	相対密度 %	標準貫入試験										標尺 (m)				
										深度 (m)	試料採取	N値 (回)	10cm毎の打撃数			N値								
													10cm	20cm	30cm									
	17.70	0.40	0.40		表土	暗灰	砂質粘土 単粒粘土 細砂質粘土										0	10	20	30	40	50		
1	17.25	0.85	0.45		砂質粘土	暗褐灰	粘着性大	-0.80																1
	16.40	1.70	0.85		砂礫	暗灰	上部砂質粘土/含水多ク、 礫径10~50mm、 厚さ1cm粘着性土混る。		1.15 1.45	①	7	1	1	5										2
2				✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓			上部砂質粘土/粘土質砂礫、 3~4cm角取砂 下部砂質粘土/3~4cm角取砂。		2.02 2.07	②	50/3	50/3												3
3	15.10	3.00	1.90	✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	層山岩	黒灰	軟弱岩を穿る。																	4
4																								5
5																								6
6																								7
7																								8
8																								9
9																								10
10																								11
11																								12
12																								13

備考 1. 試料採取位置は、試料上端および下端の深度をもってあらわし土質試験試料には一連番号 (B-O-O) を付した。
2. 標準貫入試験において、打込みが規定の深さ30cmでない場合は、打込み回数を分子に、打込み深さを分母にとってあらわした。

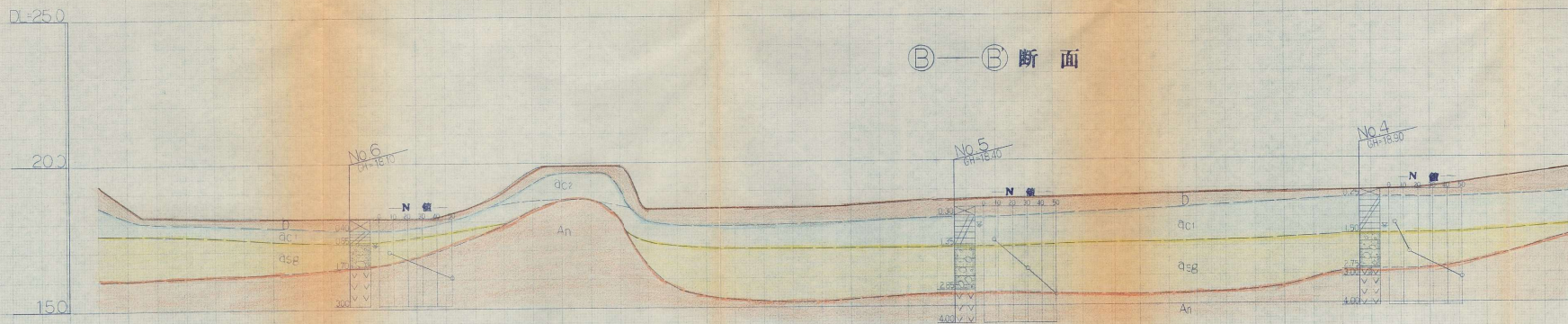
3. N値が2のように分数表示の場合は、これを30cm貫入の場合に換算した値をプロットした。

地質推定断面図 V=1:100, H=1:200

①—① 断面



②—② 断面

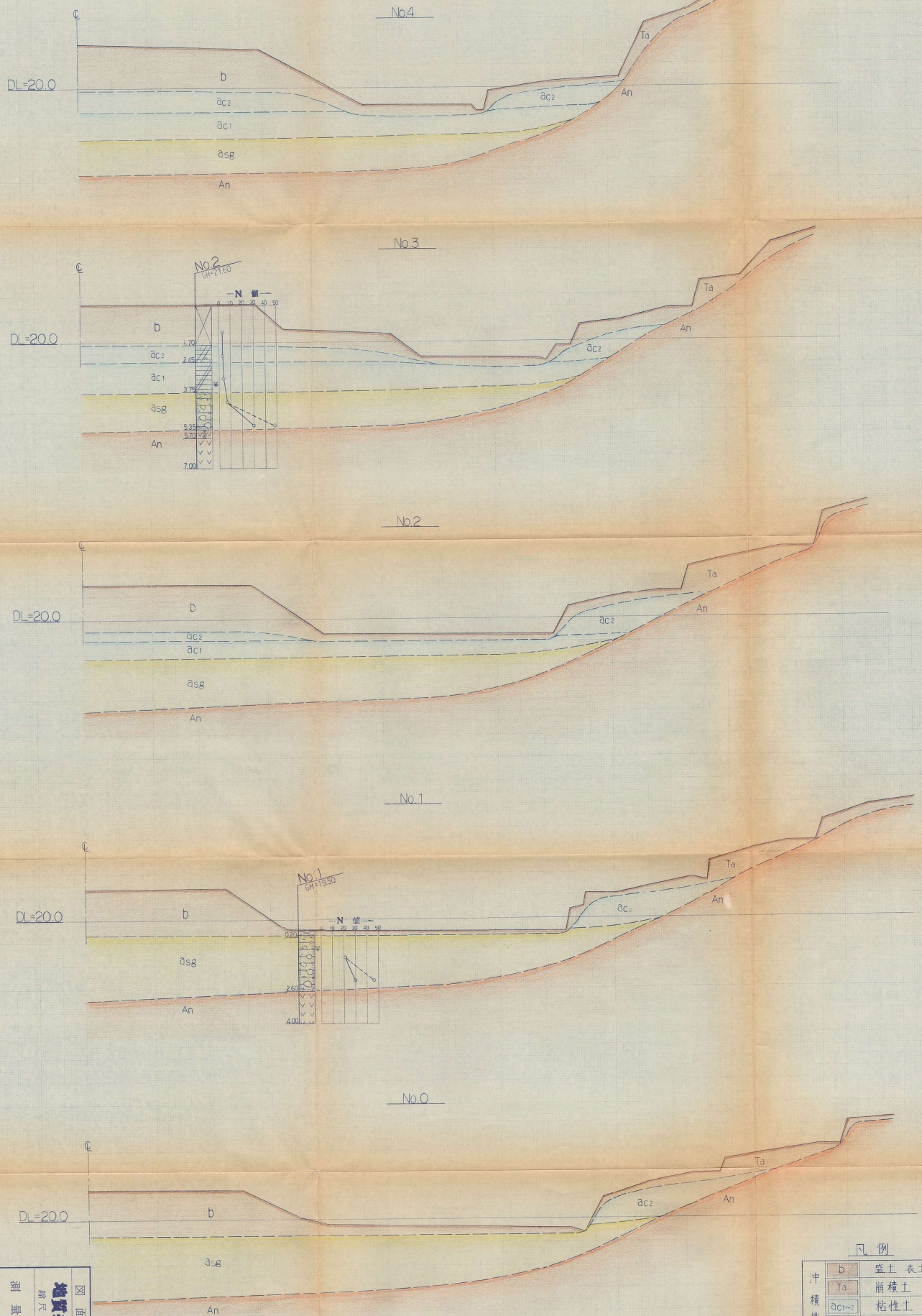


凡例

沖積世	D	盛土・表土
	ac1	崩積土
	ac2	粘性土
	qsg	砂礫
基岩	An	安山岩
		埋土表土
		粘土混り
		砂質粘土
		砂礫混り
		砂礫
		風化層
		安山岩
		孔内水位

図面の名称	図面番号
地質推定断面図	1
縮尺	V=1/100 H=1/200
測量	昭和 年 月 日終了
設計	長谷第2浄水場地質調査
製図	
図複写	

地質推定断面図 S=1:100

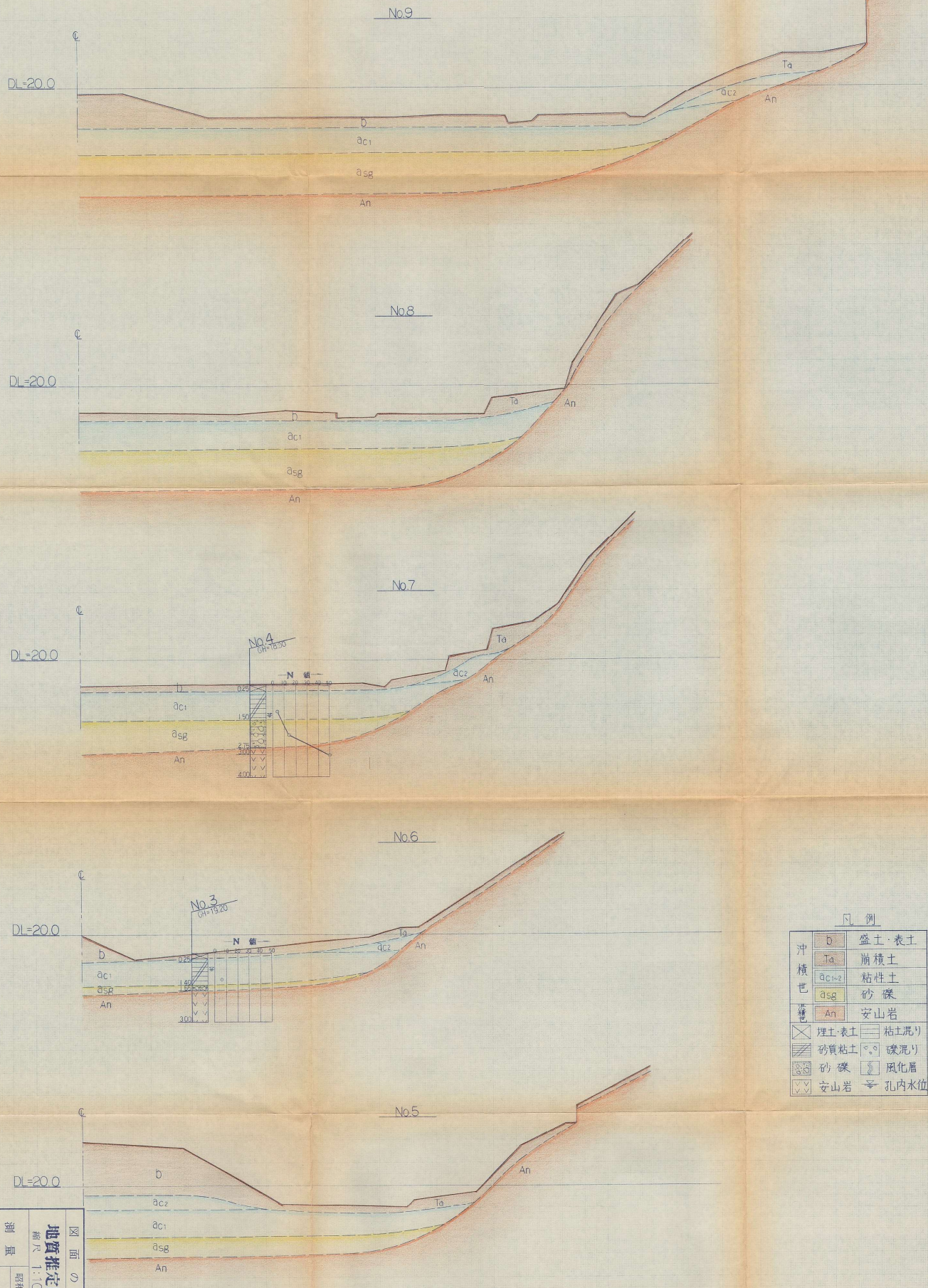


凡例

沖積世	b	粘土 表土
	Ta	崩壊土
	ac1~2	粘性土
	asg	砂礫
	An	安山岩
	埋土表土	粘土泥り
	砂質粘土	礫泥り
	砂礫	風化層
	安山岩	孔内水位

図面の名称	地質推定断面図	図面番号	2
縮尺	1:100	測 量	昭和 年 月 日終了
設計	長井第2井水場地質調査	製 図	
図 例	複写		

地質推定断面図 S=1:100

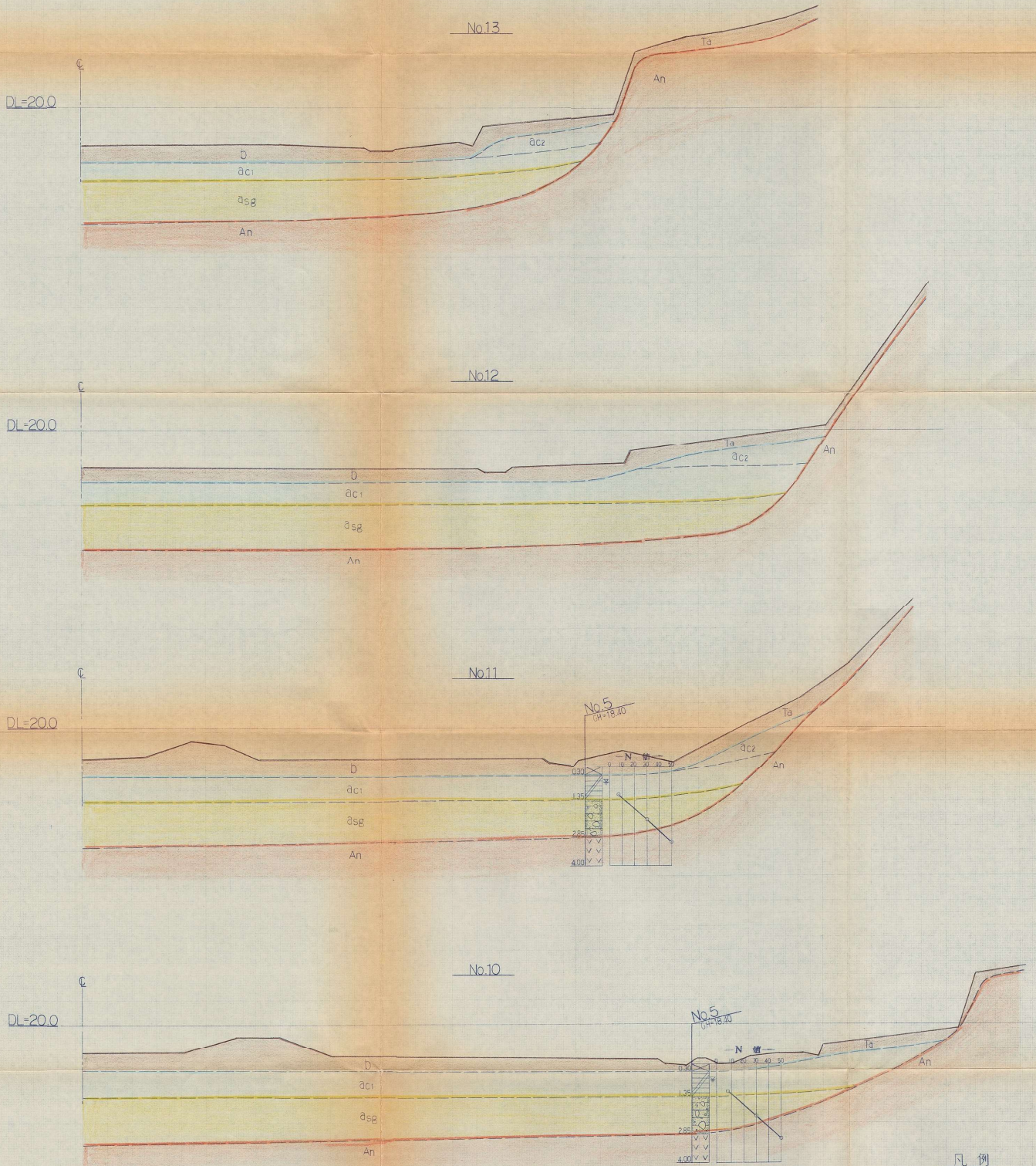


凡例

沖積地	b	盛土・表土
	Ta	崩積土
	ac1+2	粘性土
	sg	砂礫
	An	安山岩
埋土	埋土・表土	粘土泥り
	砂質粘土	礫泥り
	砂礫	風化層
	安山岩	孔内水位

図面の名称	地質推定断面図	図面番号	3
縮尺	1:100		
測量	昭和 年 月 日終了		
設計	長崎県土木部地質調査		
製図			
図号			
複写			

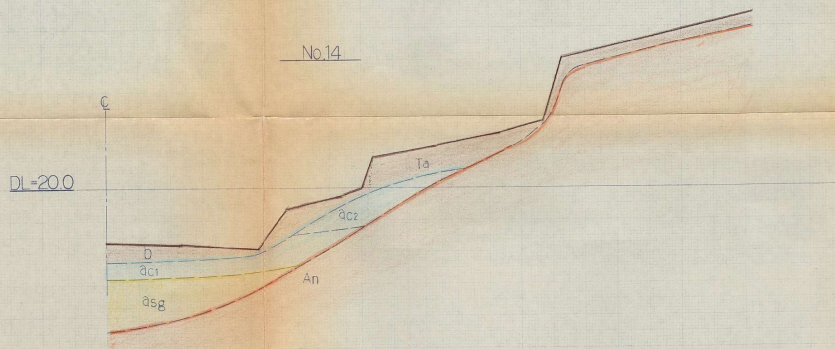
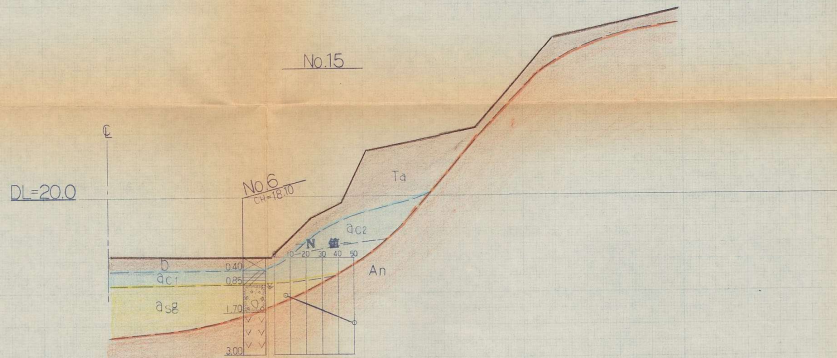
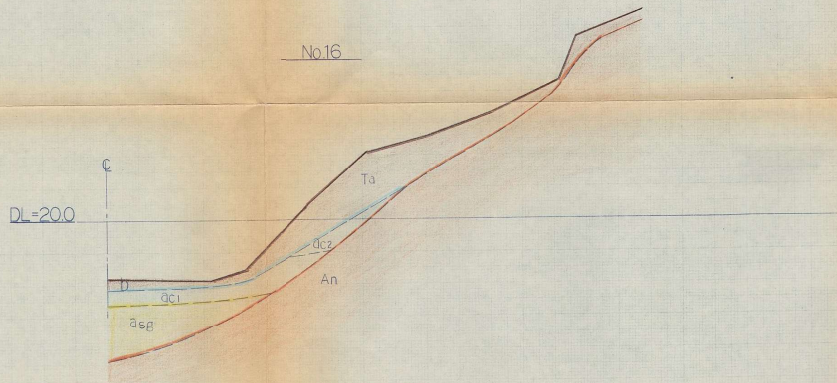
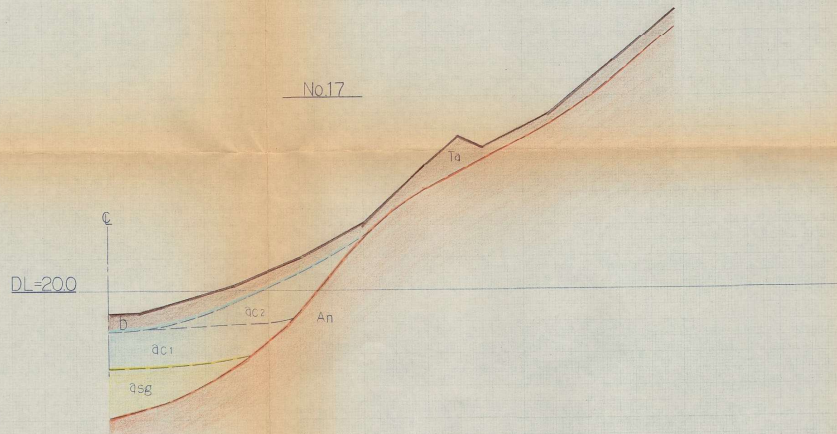
地質推定断面図 S=1:100



図面の名称		図面番号
地質推定断面図		4
測 量	昭和 年 月 日終了	
設計	長与第2沖水場地質調査	
製 図		
図 録 写		

凡 例	
D	盛土・表土
Ta	崩壊土
ac1+2	粘性土
asg	砂 礫
An	安山岩
埋土・表土	粘土混り
砂質粘土	礫混り
砂 礫	風化層
安山岩	孔内水位

地質推定断面図 S=1:100



凡例

沖積世	D	盛土・表土
堆積世	Ta	崩積土
礫層	qc1+2	粘性土
	asg	砂礫
	An	安山岩
	埋土表土	粘土泥り
	砂質粘土	礫泥り
	砂礫	風化層
	安山岩	孔内水位

図面の名称	図面番号
地質推定断面図	5
縮尺 1:100	
測量	昭和 年 月 日終了
設計	長生第2号水場地質調査
製図	
図複写	